

【授業力向上推進プロジェクト】

事例Ⅰ 家庭基礎
食生活分野

「持続可能な社会を構築していく一員としての
自覚と実践力の育成」

～継続する実践力を身に付けさせるための
指導方法と評価方法の工夫～

- 1 研究のねらい
- 2 研究実践
- 3 評価方法の工夫
- 4 まとめと今後の課題

1 研究のねらい

新学習指導要領の重点

(1) 「生徒の考え判断する力、表現する力の育成」をめざし、効果的なICTの活用方法と、生徒自身が「主体的」に仲間と「対話」することを通して「深い学び」を実現できる指導方法を工夫する。

(2) 「持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫する」を実現するための自覚と実践力を身につけさせる指導方法を工夫する。

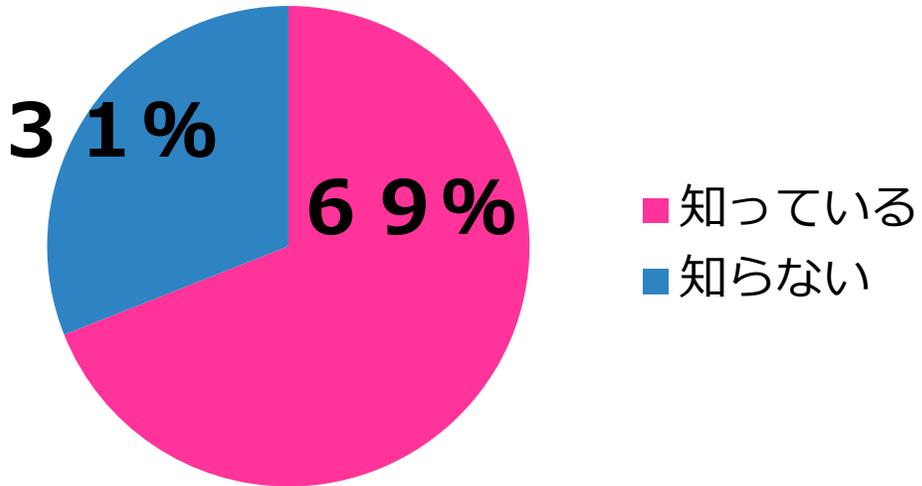
(3) 観点別学習状況の評価と評定の方法を明確にする。

2 研究実践

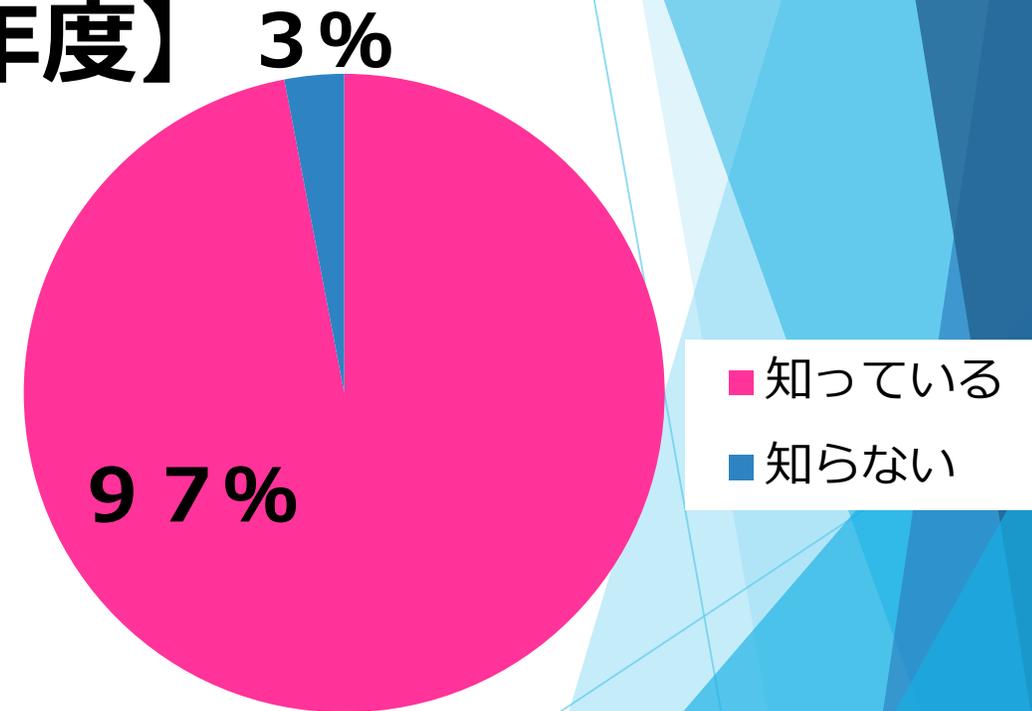
(1) 生徒の実態把握(4月入学時のアンケート)

「SDGs」という言葉を知っているか?

【R3年度】

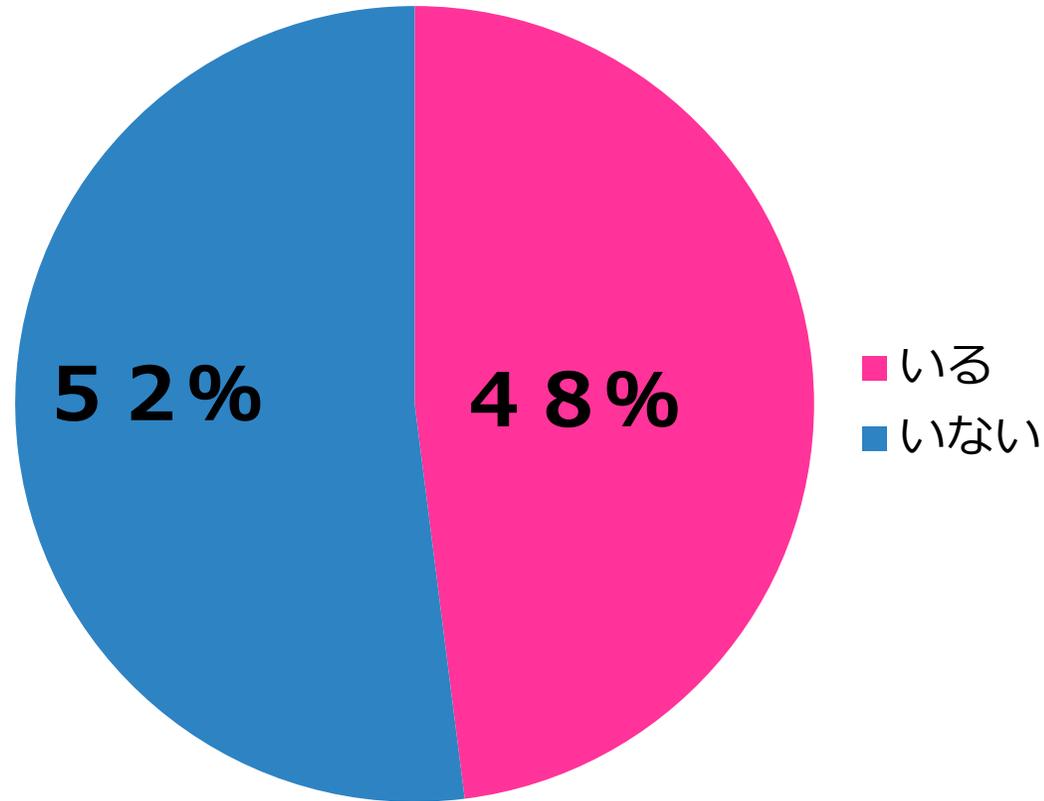


【R4年度】



※昨年度の一年間で、「SDGs」という言葉は生徒の間にも浸透してきたことがわかる。

日頃から「SDGs」を意識して行動しているか？



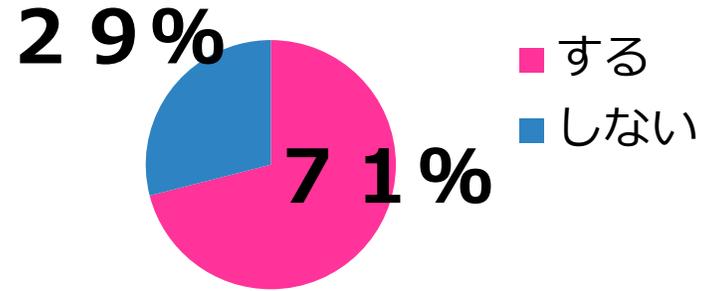
「いる」と答えた生徒の行動

- ・ゴミの分別
- ・節電、節水
- ・ポイ捨てしない
- ・マイバッグ持参
- ・マイボトルの持参
- ・詰め替え商品の購入
- ・ジェンダー差別をしない
- ・残さず食べる

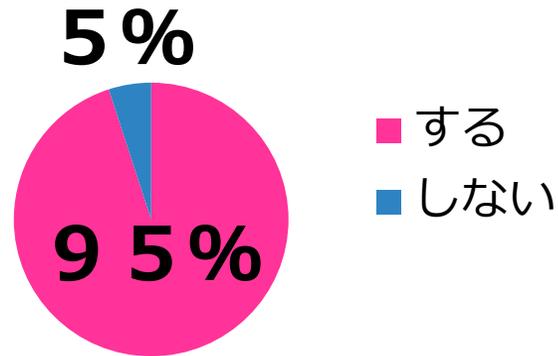
※ 「SDGs」という言葉は知っているが、実践しようという意識や行動がともなっていないことがわかる。
実践力の育成が必要である。

食品を購入するとき「賞味（消費）期限」を確認するか？

【生徒】



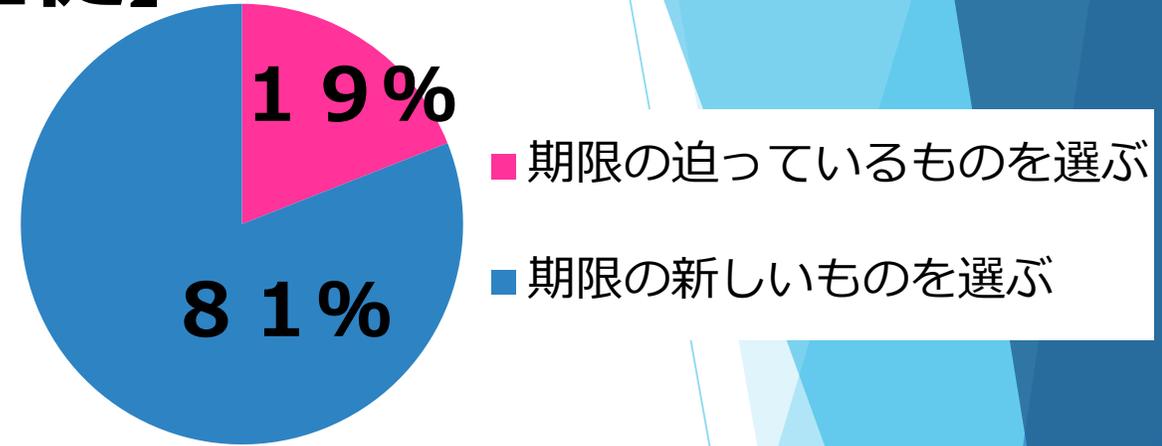
【保護者】



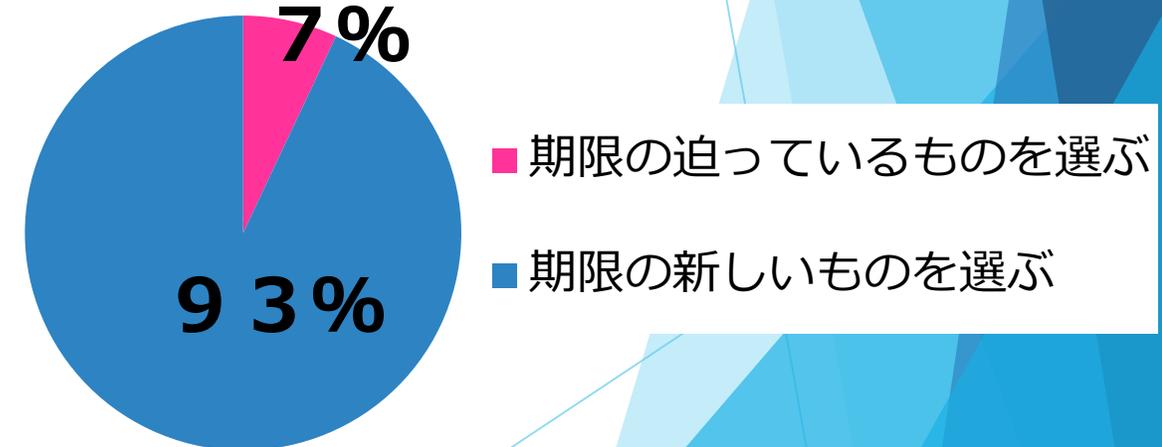
「する」と答えた人

期限の迫っているものを選ぶか？
新しいものを選ぶか？

【生徒】



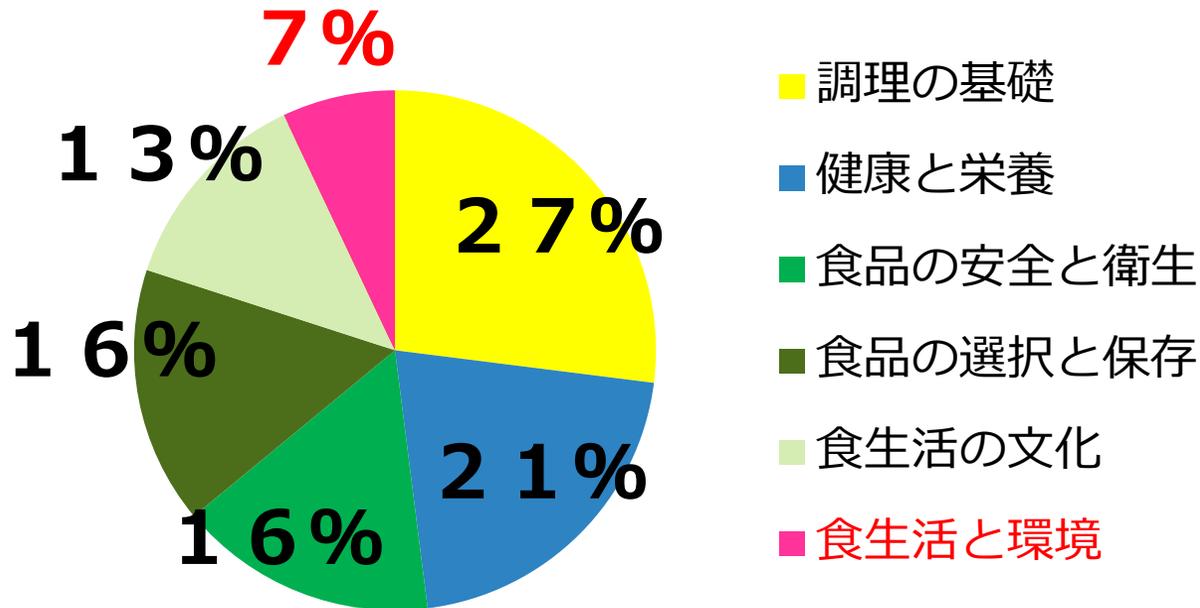
【保護者】



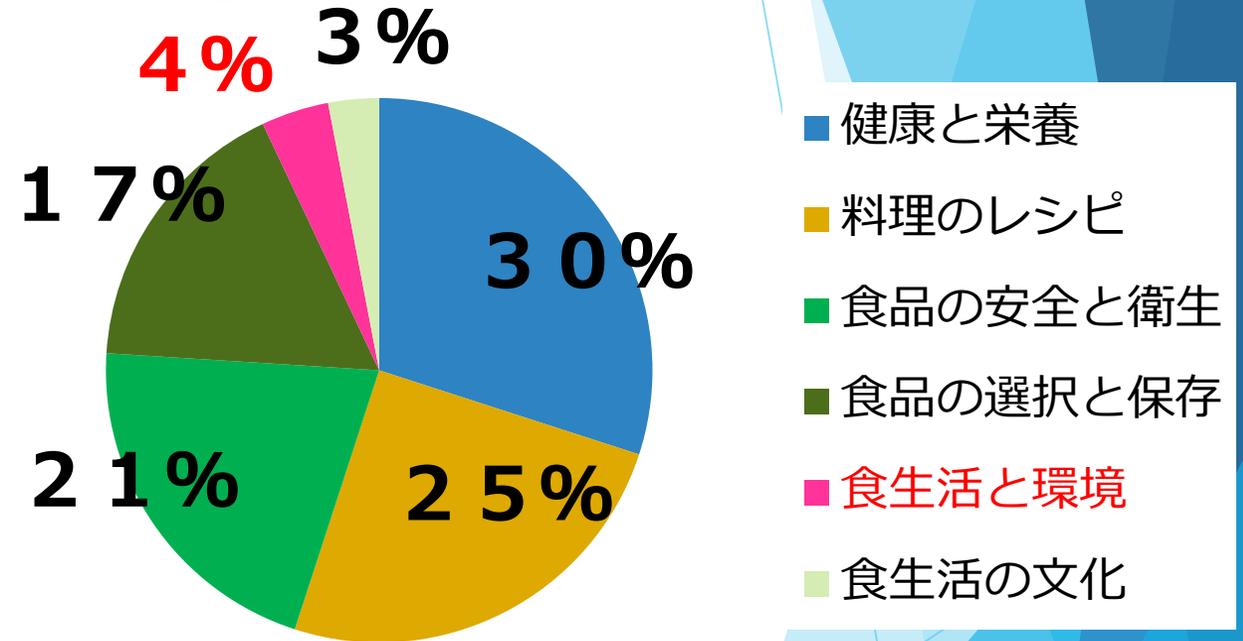
※生徒、保護者ともに期限の新しいものを選んで購入していることがわかる。生徒と共に保護者の意識改革も必要である。

食生活で興味のある分野は？

【生徒】



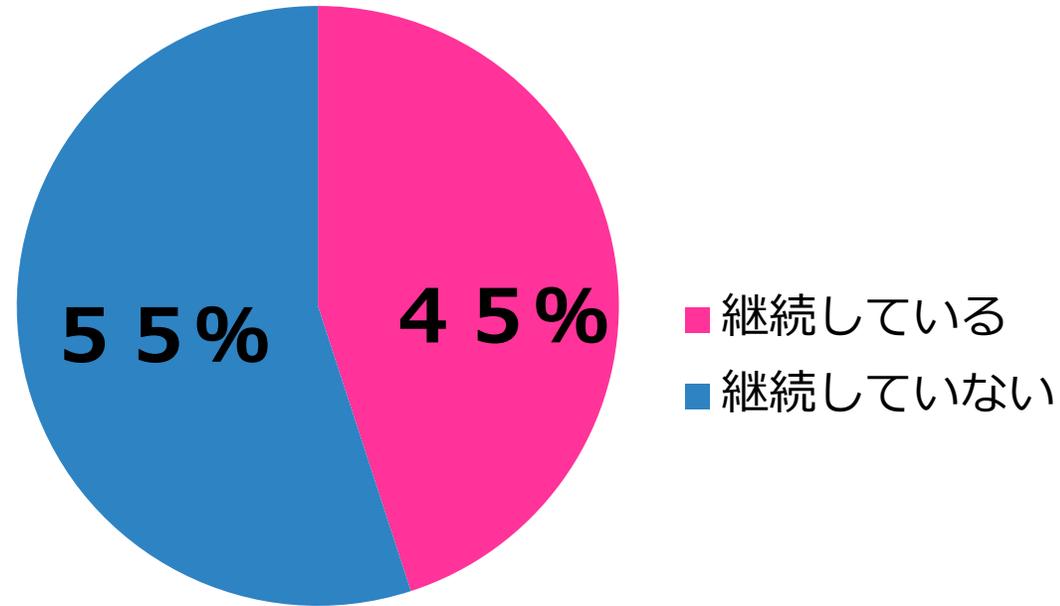
【保護者】



※生徒、保護者ともに環境に関して興味が低いことがわかる。
関心をもってもらえるようなアプローチが家庭にも必要である。

夏のホームプロジェクトで取り組んだSDGsへの活動に
今も（3ヶ月後）継続して取り組んでいるか？【R3年度生11月調査】

【R3年度生】



継続できない理由

意識が続かない
忘れてしまう

※「継続して行動できる実践力」の育成が必要である。

(2) 目指す生徒の姿

持続可能な社会の実現

目指す生徒像

持続可能な社会のあり様を
日常生活のレベルで考え、

「継続して行動できる実践力」
を身に付けた生徒

実践力の定着を図るため

1

「主体的・対話的で深い学び」
の実現に向けた授業方法の工夫

2

ICTの効果的な
活用方法の工夫

3

ホームプロジェクト
学校家庭クラブ活動

4

評価方法の工夫

(3) 授業実践

1

「主体的・対話的で深い学び」
の実現に向けた授業方法の工夫

グループで課題設定【SDGsへの取組】



【ホームプロジェクト】
課題解決に向けた実践を各自の家庭で取り組む



各自の実践を持ち寄り、グループで発表会を行い
共有する



実践内容や調査結果をタブレットを用いて更に
考察し深める



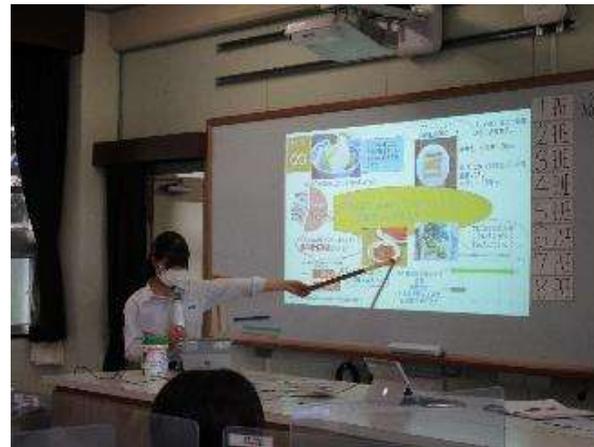
継続実践に向けて家庭での啓発活動の手段として
タブレットを用いてポスターを製作



製作したポスターを使ってクラスで発表
家庭での啓発活動・継続実践、家庭クラブ活動として校内での啓発活動

2

ICTの効果的な
活用方法の工夫



3

ホームプロジェクト
学校家庭クラブ活動



家庭基礎の学習へのご協力をお願い

持続可能な社会の構築に向けて、「食生活におけるSDGsへの取り組み」と題して生徒が自分たちにできることを考え、実践していこうという目的でポスターを作成しました。台所等に貼っていただき、ご家族でもご協力をいただき、ご感想などいただくと幸いです。

家族の感想

このポスターを冷蔵庫に貼ったところ、手を加えて保存することで、旨味や食感、保存期間だけでなく、栄養価も高まることを意識するようになりました。

もったいない、粗末にせず大切にすることは、素晴らしい副産物もあり、豊かな食生活となり、豊かな人生につながるのだろうと考えさせられました。そう考える機会を与えて頂きありがとうございました。

ポスターを見る事によりSDGsも意識し、野菜の皮を畑の肥料にしたり、りんごを皮付きのまま食べたりしました。今までゴミとして出していたのでもったいなかったと思います。これからは出来る事を続けていきたいと思っております。

日頃より食料を使用することばかり考えておりましたが、このポスターを冷蔵庫に貼ったところ、いつの間にか食品の皮や野菜の皮を畑の肥料にしたり、りんごを皮付きのまま食べたりしました。今までゴミとして出していたのでもったいなかったと思います。これからは出来る事を続けていきたいと思っております。

ポスターを見ることによってSDGsを意識し、野菜の皮を畑の肥料にしたり、りんごを皮付きのまま食べたりしました。今までゴミとして出していたのでもったいなかったと思います、これからもできることを続けていきたいと思いました。

買い物の際には、ついつい間違えて同じものを買ってしまったり、いろいろ詰め込みすぎて冷蔵庫の奥から日にちの迫った食物が出てくることもあるため、ポスターのとおり確認と整理に心がけていきたいと思えます。

フードロスなくするための工夫として、いつもとは違う調理法やアレンジレシピ、作り置き（冷凍保存）を意識して取り組むようになりました。取り組みをくり返すことでおいしさや新鮮さ、栄養も考えたメニューが増えるようにしていきたいと思えます。一家庭ずつ、一人ずつの取り組みがきっかけで、持続していくことで目標に近づいていくと思えます。今後も継続していきたいです。

ポスターを冷蔵庫に貼ったため、時々眺めています。買い物の際は、ついつい間違えて同じ物を買ってしまったり、いろいろ詰め込みすぎて冷蔵庫の奥から日にちの迫った食物が出てくることもあるため、ポスターのとおり確認と整理に心がけていきたいと思えます。

フードロスをなくすための工夫として、いつもとは違う調理法やアレンジレシピ、作り置き（冷凍保存）を意識して取り組むようになりました。一家庭ずつ、一人ずつ取り組みが続き、持続していくことで目標に近づいていくと思えます、今後も継続していきたいです。

学習の成果

- ①ホームプロジェクトの課題をグループで協議し設定したことにより目的が明確になり、**ホームプロジェクトに取り組みやすくなった。**
- ②ホームプロジェクトの実践をグループで共有し、その内容をさらに見直し考察することによって、**生徒の主体的な活動の時間が増加し深い学びが実現できた。**
- ③ポスター作りにICTを活用することにより、一人ひとりが分担して取り組むことができ、編集・複製も容易で**学習効率が高まった。**
- ④保護者への啓発活動により、家族の意識改革と協力体制の確立に繋がり、生徒の**「継続して行動できる実践力」の育成に結びついた。**

3

評価方法の工夫

3 指導と評価の計画 (19時間)

時間	【ねらい】・学習活動	重点	記録	備考（・は評価規準（ ）は評価方法
	<p>【単元を貫く課題】 健康的で持続可能な食生活を営むために、私たちにできることは？</p>			
1	<p>[1] 食生活の課題について考える (2時間)</p> <p>【ねらい】 食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境などを理解し、これからの持続可能な食生活を送るために自分たちができることは何かを考えることができる。</p>			
2	<p>・食生活における課題を理解し、持続可能な食生活を送るために自分たちができることを考える。</p>	思 ①	○	<p>・食品ロスの現状を理解し、自分自身の問題として捉え、考えることができる。 (ワークシート)</p> <p>1【単元を貫く課題】への問い</p>
3	<p>[2] 食事と栄養・食品 (4時間)</p> <p>【ねらい】 ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質について理解することができる。</p>			
4				
5	<p>・自分の食事から食品に含まれる栄養素を学び、バランスのよい食事について考える。</p>	知 ①		<p>・食品の栄養的特質、調理上の性質について理解している。 (定期考査)</p>
6	<p>・食品の調理上の特性を知り、適切な調理を考える。</p>			
7	<p>[3] 食生活の選択と安全 (2時間)</p> <p>【ねらい】 食品の保存方法や食中毒の危険性・予防方法を理解するとともに、適切な取り扱いについて考えることができる。</p>			
8	<p>・身近な食品の表示から情報を正確に読み取り、適切な食品選択の方法を考える。</p> <p>・食品の選択と安全について、環境の面から考える。</p>	知 ② 思 ②	○	<p>・食中毒の原因と予防法、食品の安全・衛生に関わる基本的な知識が身についている。(定期考査)</p> <p>・食品の選択・購入・保存や取扱いについて環境の視点から考えている。 (ワークシート)</p> <p>2~4【単元を貫く課題】への問い</p>

9	<p>[4] 生涯の健康を見通した食事計画 (2時間)</p> <p>【ねらい】 一日に必要な食事摂取基準とそれを満たすための食品概量を理解し、家族の食生活の計画と管理ができる。</p>			
	<p>・食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを用い、何をどれくらい食べればよいか確認し家族の献立を考える。</p>	知 ③ 思 ③	○	<p>・栄養の機能と食品の関わり、食品の特性と調理との関係において科学的な思考を身につけ、食品の選択、栄養計算や献立作成など実際の食事作りに向けての判断ができる。 (定期考査・ワークシート)</p>
10	<p>[5] 調理の基礎 (5時間)</p> <p>【ねらい】 食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけると共に、配膳やマナーにも関心を持ち、日常生活における実践への意欲を高める。</p>			
11				
12	第1回 [お菓子] <家庭クラブ活動>	思		<p>・基本的な調理技術やマナーを身につけている。</p> <p>・環境に配慮した実習に取り組んでいる。</p> <p>・衛生的で安全な実習を心掛け、意欲的に取り組んでいる。 (行動観察、実習記録)</p>
13	第2回 [調理の基本]	④		
14	第3回 [和食献立]	主		
15	第4回 [中華献立]	①		
15	第5回 [洋食献立]			
16	<p>[6] 食生活の文化と知識 (1時間)</p> <p>【ねらい】 日本の食文化の成り立ちを理解する。</p>			
	<p>・日本の食文化の形成を理解し、郷土料理について調べる。</p>	主 ②		<p>・日本の食文化について成り立ちや特徴に興味を持って調べている。 (行動観察)</p>
17	<p>[7] これからの食生活 (3時間)</p> <p>【ねらい】 持続可能な食生活の実現を目指して、主体的に行動できる。</p>			
18	<p>・日本の食料自給率の低下や輸入依存の実態を知り、その原因を探るとともに持続可能な食生活の工夫を考え実践し、発表する。</p>	知 ④ 思 ⑤ 主 ③	○	<p>・持続可能なライフスタイル実現には「継続」が重要であることを理解し、自分たちができることを考え実践していこうとしている。 (ワークシート、ホームプロジェクト 行動観察、実践発表、定期考査)</p> <p>5【単元を貫く課題】への問い</p>
19				

1 【単元を貫く課題】への問い

[1] 食生活の課題について考える

	学習活動における具体的評価基準 (B)	「十分満足できる」と判断される状況 (A)	「努力を要する」と判断される状況 (C)
評価	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>食品ロスを減らすために自分たちには何ができるのかを考え、表現している。</p>	<p>食品ロスの発生状況とその要因を把握し、それを踏まえた上で、様々な方面から自分たちにできることを考え、表現している。</p>	<p>自分の問題として捉えていない。</p>

SDGsの視点から考えてみよう！【思・判・表】

私は朝、朝ごはんを食べる時に、いつも時間がなくて残してしまったり、むかし朝早く起きて、朝ごはんを残さずに食べるような時間ととっていた。また、賞味期限とかのものを直接廃棄してしまったりもするので、賞味期限とかはぜひ把握をして、食品ロスに貢献していきたい。

賞味期限

B

朝早く起きて朝ごはんを残さずに食べられるような時間をとっていきたい。
賞味期限が早いものの把握をして、食品ロス削減に貢献していきたい。

SDGsの視点から考えてみよう！【思・判・表】

SDGsの中の「飢餓をゼロに」に反する行動。よくない。

C

SDGsの中の「飢餓をゼロに」に反する行動。よくない。

SDGsの視点から考えてみよう！【思・判・表】

まず、食べ残しをしないためにも買い物に行く時は献立を考えて必要最低限のものを買い、セールや特売で安くなっているからと大量に買うのは本当に必要な量だけ買うことも重要だ。また、賞味期限が切れているから捨てるのではなく、消費期限が切れたら捨てることも大切だ。また、その食品の状態によって判断することは大切だ。さらに、過剰除去ではニンジンの皮や大根の皮などは食事の一品として活用できるとテレビで見たことがあるので、衛生面を心配しなくて過剰除去しないで必要最低限の皮むきをするようにすればいい。このように、世界では飢餓で苦しんでいる人もたくさんいるので、そのようなことを考えて食事をしていきたい。

A

買い物に行く時は献立を考えて必要最低限のものを買い、特売で安くなっているからと大量に買わず本当に必要な量だけ買うことも重要だ。
賞味期限が切れているから捨てるのではなく、その食品の状態で判断することは大切だ。
過剰除去では、必要最低限の皮むきをするようにすればいい。
世界では飢餓で苦しんでいる人もたくさんいるので、そのようなことを考えて食事をしていきたい。

2 【単元を貫く課題】への問い [3] 食生活の選択と安全 (1) 食品の選択

	学習活動における具体的評価基準 (B)	「十分満足できる」と判断される状況 (A)	「努力を要する」と判断される状況 (C)
評価	【思考・判断・表現】 食品の選択を環境の視点から考え、表現している。	環境を考えた食品選択の重要性を理解し、自分の行動と関連付けて考え、表現している。	問題を環境の面から考えて表現することができない。

SDGsの視点から考えてみよう！【思・判・表】

1. 旬産旬消
旬のものは栄養が高く美味しい！ビニールハウスは温度管理をする必要があり、二酸化炭素を排出してしまつたため、環境面で良くない。だからこそ、旬産旬消することで栄養価の高いものを取りこむことができるメリットがある。

2. 規格外野菜
規格内野菜よりも安く、でも味の質は変わらないものが多いと思う。また、大量に廃棄されているという事実を伝えて、規格外野菜の魅力をもっと広めていくべきだと思う。どんな野菜も調理してしまえば旬産旬消に生まれ変わることもできる。

SDGsの視点から考えてみよう！【思・判・表】

旬でないものは栽培する時に温度管理などをしなければいけないから、環境破壊につながってしまう。旬のものなら未来の世代の環境を守ることにもつなげるから私たちは旬のものをなるべく選ぶべきだと思ったし、旬の知識をつけて選択できるようにしたい。

規格外野菜は、たくさん廃棄されてしまうのはよくないから、安く売っているところを探してみたい。

SDGsの視点から考えてみよう！【思・判・表】

1. 旬産旬消 有機×
2. 規格品より安く買う。栄養価は変わらない。

C
旬産旬消 有機×
規格品より安く買う。栄養価は変わらない。

B
ビニールハウスは温度管理をする必要があり二酸化炭素を排出してしまつたため環境面で良くない。

規格外野菜は、大量に廃棄されているという事実を伝えて、規格外野菜の魅力をもっと広めていくべきだ。

A
旬でないものは栽培する時に温度管理などをしなければいけないから、環境破壊につながってしまう。旬のものなら未来の世代の環境を守ることにもつなげるから私たちは旬のものをなるべく選ぶべきだと思ったし、旬の知識をつけて選択できるようにしたい。

規格外野菜は、たくさん廃棄されてしまうのはよくないから、安く売っているところを探してみたい。

3 【単元を貫く課題】への問い

[3] 食生活の選択と安全 (1) 食品の安全

	学習活動における具体的評価基準 (B)	「十分満足できる」と判断される状況 (A)	「努力を要する」と判断される状況 (C)
評価	【思考・判断・表現】 有機栽培を健康と環境の二面から考え表現している。	有機栽培を健康と環境の二面から考え、さらに自分の行動と関連付けて表現している。	問題を健康と環境の二面から考えて表現することができない。

SDGsの視点から考えてみよう!【思・判・表】

農薬を使っていないので人間も安心して食べることもできるし、大量に使用すると自然の木や森などにも影響が出てしまう。農薬が合えばかたからかゆってしまうかもしれない。

B

農薬を使っていないので、人間も安心して食べることができるし、大量に使用すると自然の木や森などに影響が出てしまう。

SDGsの視点から考えてみよう!【思・判・表】

農薬や化学肥料を使うことは環境によくないし、健康にもよくないことだと思います。だから有機JASマークの付いた商品を選択することは環境によく安全だと思います。値段は少し高くなり手間がかかることだけれど、環境や健康にいいので選択するといいいと思います。

A

農薬や化学肥料を使うことは環境によくないし、健康にもよくない。だから有機JASマークの付いた商品を選択することは環境によく安全だと思う。値段は少し高くなり手間がかかることだけれど、環境や健康にいいので選択するといいい。

C

農薬や化学肥料を大量に使用すると環境問題になることもあるので、頼らない生産の仕方はとてもいいと思う。

SDGsの視点から考えてみよう!【思・判・表】

農薬や化学肥料を大量に使用すると、環境問題になることもあるので、頼らない生産の仕方はとてもいいと思う。

4 【単元を貫く課題】への問い

[3] 食生活の選択と安全 (2) 食品の保存と加工

	学習活動における具体的評価基準 (B)	「十分満足できる」と判断される状況 (A)	「努力を要する」と判断される状況 (C)
評価	【思考・判断・表現】 適切な食品の保存と食品ロス削減を結び付けて考え、表現している。	環境を考えた保存方法を理解し、より環境に負荷を与えない保存方法を考え、表現している。	環境の面から考えて表現することができない。

SDGsの視点から考えてみよう!【思・判・表】
 保存をすることで、食料の無駄を減らすことができ、
 つけ物や干物にすることで、長い間保存することができる。
 また、捨てなくてはいけな食料を減らすことができ

B

保存をすることで、食料の無駄を減らすことができ、漬物や干物にすることで長い間保存することができる。また捨てなくてはいけな食料を減らすことができる。

SDGsの視点から考えてみよう!【思・判・表】
 SDGsの視点から考えると、伝統的な乾燥や
 塩漬、砂糖漬けが良いと思います。
 理由は、電気などのエネルギーも使わないし、
 CO₂も排出しないと思うからです。

A

SDGsの視点から考えると、伝統的な乾燥や塩漬、砂糖漬けが良いと思う。理由は電気などのエネルギーも使わないし、CO₂も排出しないと思うから。

余った野菜をいろんな方法で漬けてみて色とりどりでいい食卓をつくれるようにしたい。

C

SDGsの視点から考えてみよう!【思・判・表】
 余った野菜をいろんな方法で漬けて色とりどりの食卓をつくれるようにしたい。

5 【単元を貫く課題】への問い

[7] これからの食生活

	学習活動における具体的評価基準 (B)	「十分満足できる」と判断される状況 (A)	「努力を要する」と判断される状況 (C)
評価	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能なライフスタイルの実現には「継続」が重要であることを理解し、自分たちができることを考え実践していこうとしている。</p>	<p>エシカル消費の意味を理解した上で、自分の行動が未来の、そして世界の幸せに結びついていくことに気づいている。</p>	<p>実践していこうとしない。</p>

SDGsを知って、いろいろな問題があるけど、みんなにも共通して続けることが重要だということも学んだ。問題は大きいけど自分ができることはたくさんあり、今使った、消費期限の近いものを取り、地元でつくられた野菜や旬の野菜を買うことで、持続可能な社会に役に立つので、小さいことを継続的に、行っていきたい。またSDGsは大きな問題だけど、小さいことを一人ではなくみんなで続けることに意味があるので、そこを意識しながら生活していきたい。

B

どんなことにも共通して続けることが重要だということも学んだ。今使った消費期限の近いものを取り、地元で作られた野菜や旬の野菜を買うことが、持続可能な社会に役立つので小さいことを継続的に行っていきたい。小さいことを一人ではなくみんなで続けることに意味があるので、そこを意識しながら生活していきたい。

今回、今回の学習を通して持続可能な社会を作っていく必要があるということも分かりました。その際に未来や世界のこと、みんなのことを考えて行動する必要があると分かりました。そのため、自分よりも食料が食べられなかったり、エシカルな気持ちで、消費(味)期限の短いものを買う、地元のものを買うなどの行動をしていきたいです。地産地消をすれば気候変動の要因の一つでもあるCO₂の排出を抑えられると思います。また、消費期限の短いものを買えば、少し捨てられてしまう食品の量も減らすことができます。だから、これらことを一人やるのではなく、家族や友人を巻き込んで取り組んでいきたいです。そして、SDGsの17目標を達成するために協力していきたいです。また、それによって、やさいを栽培し、エシカル消費ができるようにしていきたいです。

A

今回の学習を通して持続可能な社会を作っていく必要があることがわかった。未来や世界のこと、みんなのことを考えて行動する必要がある。

エシカルな気持ちで地産地消をすれば気候変動の一つでもあるCO₂の排出を抑えられる。消費期限の短いものを買えば捨てられてしまう食品の量も減らすことができる。

一人でやるのではなく家族や友人を巻き込んで取り組んでいきたい。やさしさを広げ、エシカル消費ができるようになりたい。

【観点別評価と10段階評価】

家庭基礎【観点別評価】

知識・技能 … 定期考査

思考・判断・表現 … ワークシート記述評価 等

主体的に学習に取り組む態度 … ホームプロジェクト、作品、提出物、発表、授業態度 等

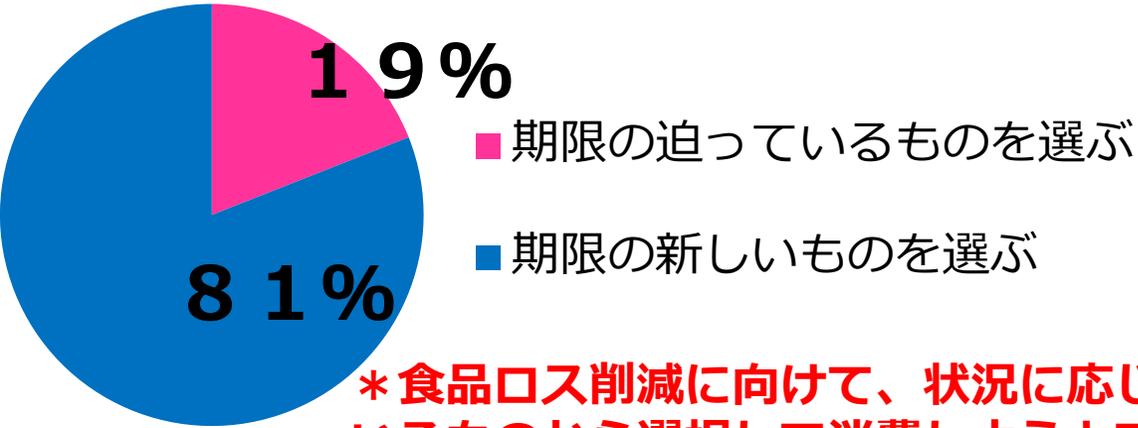
思考・判断・表現 (ワークシート記述評価等)			知識・技能(定期考査)									
			10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
a			a				b				c	
2			4	4	3	3	2	2	1	1	0	0
主体性 (HP、作品、提出物 発表、授業態度等)	a	4	aaa10	aaa10	aaa9	aaa9	baa8	baa8	baa7	baa7	caa6	caa6
	a	3	aaa9	aaa9	aaa8	aaa8	baa7	baa7	baa6	baa6	caa5	caa5
	b	2	aab8	aab8	aab7	aab7	bab6	bab6	bab5	bab5	cab4	cab4
	b	1	aab7	aab7	aab6	aab6	bab5	bab5	bab4	bab4	cab3	cab3
	c	0	aac6	aac6	aac5	aac5	bac4	bac4	bac3	bac3	cac2	cac2

思考・判断・表現 (ワークシート記述評価等)			知識・技能(定期考査)									
			10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
b			a				b				c	
1			4	4	3	3	2	2	1	1	0	0
主体性 (HP、作品、提出物 発表、授業態度等)	a	4	aba9	aba9	aba8	aba8	bba7	bba7	bba6	bba6	cba5	cba5
	a	3	aba8	aba8	aba7	aba7	bba6	bba6	bba5	bba5	cba4	cba4
	b	2	abb7	abb7	abb6	abb6	bbb5	bbb5	bbb4	bbb4	cbb3	cbb3
	b	1	abb6	abb6	abb5	abb5	bbb4	bbb4	bbb3	bbb3	cbb2	cbb2
	c	0	abc5	abc5	abc4	abc4	bbc3	bbc3	bbc2	bbc2	cbc1	cbc1

思考・判断・表現 (ワークシート記述評価等)			知識・技能(定期考査)									
			10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
c			a				b				c	
0			4	4	3	3	2	2	1	1	0	0
主体性 (HP、作品、提出物 発表、授業態度等)	a	4	aca8	aca8	aca7	aca7	bca6	bca6	bca5	bca5	cca4	cca4
	a	3	aca7	aca7	aca6	aca6	bca5	bca5	bca4	bca4	cca3	cca3
	b	2	acb6	acb6	acb5	acb5	bc4	bc4	bc3	bc3	ccb2	ccb2
	b	1	acb5	acb5	acb4	acb4	bc3	bc3	bc2	bc2	ccb1	ccb1
	c	0	acc4	acc4	acc3	acc3	bcc2	bcc2	bcc1	bcc1	ccc1	ccc1

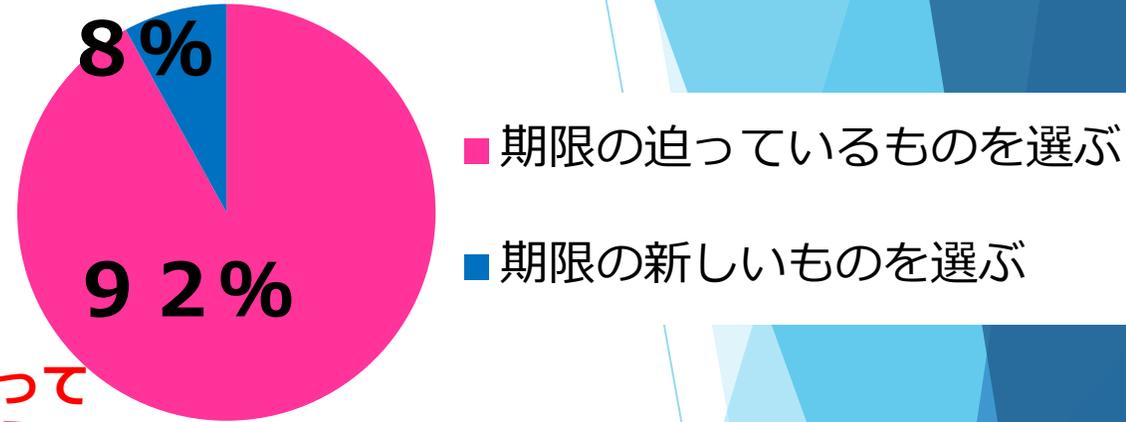
4 まとめと今後の課題

食品を購入するときの「賞味(消費)期限」の確認について
【4月調査】



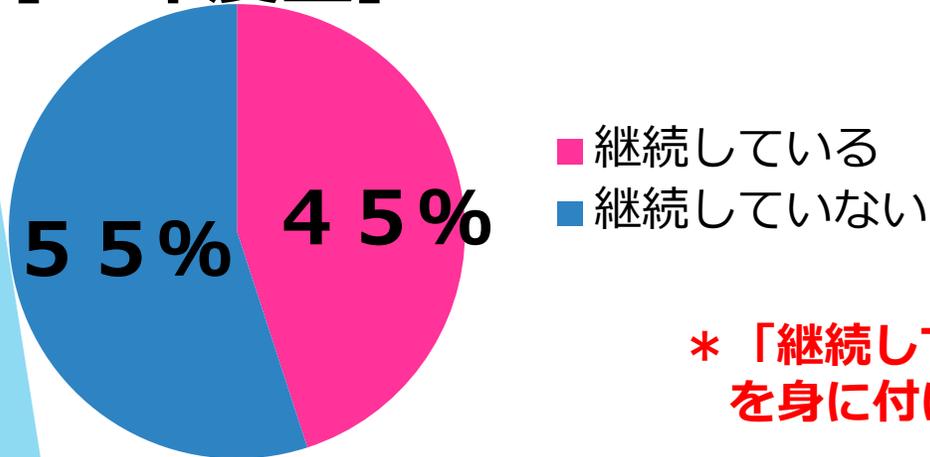
* 食品ロス削減に向けて、状況に応じて期限が迫っているものから選択して消費しようとする生徒が増えた。

今すぐ食べるのであれば「賞味(消費)期限」の迫っているものを選択しようと思いますか？【11月調査】



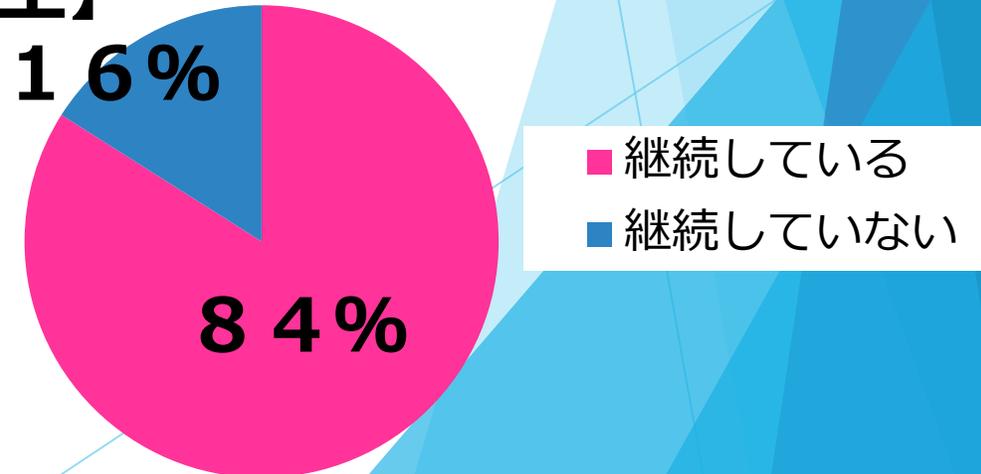
ホームプロジェクトで取り組んだSDGsへの活動に継続して取り組んでいるか？【11月調査】

【R3年度生】



* 「継続して行動できる実践力」を身に付けた生徒が増えた。

【R4年度生】



4月の入学時と比べて、日常生活の中でSDGsや環境について興味・関心を持つようになったと思いますか？

はい 94%

いいえ 6% 【SDGs 今、私たちにできること4月11月比較】

生徒A

ゴミの分別
食品ロスをなくす
寄付
差別をしない

電気やエアコンの節電
地産地消
冷蔵庫に物を詰め込みすぎない
食器の汚れはふき取る

4月



11月

ゴミの水分量を減らす
野菜の皮や葉を料理に使う
野菜をぬかや酢等に漬けて長持ちさせる
必要以上に食品を買わない
食べきれぬ量だけ作る

生徒B

ゴミを分別する
ポイしてしない
男女仲良く話す
節電をする (エアコン)

誰とも仲良くする
ゴミを拾う
夏はエアコンの温度を下げすぎない
過剰廃棄しない
水を出したままにしない
エコバックを持参する
リサイクルできる物は分別する
階段を使う

夜遅くまでテレビを見ない
食べ物は消費期限を見て食べていく
買う時は期限の近いものから買う
ポイ捨てしない

4月



11月



【成果】

- 主体的、対話的な学習を導入することによって、課題解決に向けて生徒自ら考え「**継続して行動できる実践力**」を身に付けることができた。
- ICTを効果的に活用することにより、**学習効率を高めることができた。**
- 評価の方法を工夫し明確に提示することにより、**学習意欲を高めることができた。**

【課題】

- ホームプロジェクトを家庭クラブ活動へつなげる工夫